時事新報定價

時事新報ハ一年三百六十五日一日モ休刊セズ其代價遞送廣告料ハ左ノ如シ

一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓

〇時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ遞送スルモノニ限リ右定價ノ外ニ一箇月十五錢ノ郵送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金

一行五號活字廿四字詰	一日限	二日以上六日迄	七日以上
一行ニ付	十二錢	十一錢	十錢五厘

月曜日幷ニ大祭祝日の翌日等他新聞紙の休刊日に限り時事新報配達の求めに應ず此場合には新報代價一箇月前金八錢ヲ以て地方に郵送する分は此外に貼用する郵便印紙の代價を申受く可し

時事新報

社會の風儀

近來其筋にては頻りに風俗の取締に注意するものと見え坊間刊行の圖畫又は出版物にして風俗壞亂と認められ發賣頒布を禁せられたるもの少なからず聞く所に據れば此頃より飲食用切符云々の名を冒し賭博に類する物品授受の法を記したる冊子を出版する者あり又猥褻に近き婦人の圖畫を印刷し公然店頭に掲げて之を鬻ぐものも少なからざるよしにて新聞の紙上などにも間々ろの不都合を鳴らす者もありしが遂に其筋の注意する所となりて禁止の令を更に嚴にしたるものと見ゆ誠に至當の處置と云ふ可し併しながら全體より申せば社會の體裁整肅にして人々の私に傷義を重んずるの風を成すときは假令へ無恥の下流社會に卑陋醜猥を事とするの徒あるも其醜態を世に逞うするの横なく隨て政府の禁令などを要せずして止む事ならんに然るに今の社會は斯る不倫の圖畫出版物を公にするの機會に富み僅に法律の手を借りて之を禁ずるとは即ち民風の尚は卑しき兆候にして我輩の輩かに恥づる所なり抑も今の日本社會を見るに下流の情態は暫く措き世に所謂紳士と稱し社會の表面に立つ所の輩にして其私德を問へば殆んど言ふに忍びざるものなきにあらず我輩は固より人事の秘密を摘發して他の私行を云々するみとを好まざるものなれども社會全體の風儀の爲めに默して止む可らざるものあるを如何せん彼の賭博に類する物品授受法を記したる冊子を出版し又は猥褻に近き圖畫を印刷して世に公にするが如き元來下流無恥の輩が事理を解せず只、世俗の嗜好に投じて小利を博せんとの淺慮より出たるものゝみにて士君子の眼より見れば其鄙陋圖より厭ふ可しと雖も天下の大事にわらず或は事情に由り聊か恕す可きものなきに非ざれども愛ゝ決して恕す可らざるは彼の紳士輩の所行なり奈遊豪奢と稱し千金一擲一夜の愉快を買ふて之に滿足するは彼輩の心事野鄙猥褻風景を極め醉飽の外、他能なきの致す所にして唯憫む可きのみ或は其豪遊華に醉飽ゝ止まらず坐間の餘興、時としては別墅を賭するの輩に敢ふなどの奇峽もなきにあらずと云ふ但し此種の事は晴夜秘密の間に行はるゝものにして社會の耳目に觸れざるが故に暫く之を問はざるも其私德内行の餘まらずして家ゝ風波を起し時として國體の外に漏るゝのみならず甚しきは青天白日不倫の場所に出入して不倫の婦女子輩と同席同車し衆目を憚らずして却て自ら誇るものあり醜態見るに堪へず奇麗を用て之を評すれば風雅を墮亂するの括人會と稱するも可なり是等の所行は一個人の行爲に係るを以て率に法律の目を免るゝみとなれども民風に關係するの點より見て事の大小輕重を論ずるときは彼の圖畫出版物と同日の語る可らず如何となれば彼は唯、下流社會の俗好に投じ利を博せんとの目的にして其害も亦下流の中に止まれども是は社會の表面ゝ立て惡例を示すものなるが故に其害を上下一般に及ぼすの恐れありて然り而して其行爲たる固より他人の云々す可き所ゝにあらざれども苟も自ら紳士を以て居る以上は其名に對しても多少憚る所なかる可らず我輩は多言を要せず唯其輩が自身の地位身分を顧みて社會の爲めに少しく自省する所あらんみとを勸告する者なり

雜報

○稅關會計上檢査　會計檢査院にては神戸大坂兩稅關會計上檢査として檢査官伊藤祐敬氏出張を命ぜられしに同氏は公務都合に依り來る十二月十日頃ならでは出發の運びに至り難き由にて先發として清田河野の兩屬官を兩三日前出發せしめ下檢査に着手する都合なりと

○京都の變聞（十一月十九日發）

京都府下水害地の調査　本年八月中水害ゝ罹りたる京都府下乙訓、久世兩郡の水腐田反別三百四十二町六反九畝十三歩の地所に對し此程右水害地村民三百二十四人連署して備荒儲蓄金より二千七百圓の貸下を願出でたるを以て北垣知事は本府庶務課地方税掛波多野、長澤の兩屬をして右實地を調査せしめたり其模樣に依れば乙訓郡大山崎村大字下植野村新神足村大字勝龍寺字神足の三箇所及び羽束師村大字古川清水菱川淀村大字水垂樋爪大下津の三箇所は皆無元山崎村は六歩作にて久世郡大久保大字廣野は六歩作大久保は五歩作との事なるが聞く處によれば本年の稻作は概して不作なるも其の六歩以下の不作にわらざれば其筋にては備荒儲蓄金の貸下は聞屆けざる見込なりとか○京都市公債の氣配　此程募集したりし京都市公債の氣配を聞くに其の實地の所は分りかねれども同公債は乙號金祿公債と同樣の利子なれば乙號公債を目安ゝ立つるが第一よろしかるべし其乙號公債の氣配は本月利落にて百圓の額面ゝ付二圓位なれば市公債も之に準じ百圓額面に對する一圓五十錢前後と見定むれば見違なかるべしと京都株式取引所仲買人等の風説なるが兎ゝ角市公債も追々日を經ば一際氣配宜しかるべしと云ふ○京都市公債の拂込　京都市公債の拂込は上京兩區共已に完了したる由なるが下京區役所ゝての應募金額は六萬六千七百圓に對する價額六萬六千四十六圓二十八錢七厘は去る十六日より同區役所より當市參事會へ納付せしと云ふ又上京區役所ゝて取扱たる金額は五萬三千三百圓にして其評價は五萬三千三百二圓五十錢九厘にて額面より二圓五十錢九厘超過せりと聞く○京都の華族新聞　京都の華族久世通章、梅小路定行の兩氏が當市ゝ一の華族新聞を發行せんと昨今計畫中なりと

○綿花の賣買高　客月中大坂の内外綿會社に於て賣買せし綿花の高及代價を聞くに日本綿買入五萬七千九百十五斤（代價八萬二千三百八十四圓）、支那綿六十萬三百八十三萬七千五百九十九斤（代價廿九萬五千四百六十三圓）又同社より各紡績所其他へ賣捌きしは日本綿三萬九千四百五十二斤（代價五萬三千八百四十五圓）、支那綿五十四萬五千八百三斤（代價十萬三千三百五十八圓）支那實綿二百二十八萬千百三斤（代價十五萬九千百六十一圓なりしと

○石ノ卷港輸出米　客月中陸前國石ノ卷港に於ける米の集散は陸前米にて其輸出高八千八百九十石八斗、陸中米及同國穀類を合して四千六十五石七斗、右計一萬二千九百五十六石五斗にして右販路の重なるは東京、浦賀、北海道、岩手沿海、伊勢及宮城縣下等の地方なりと而して又昨年十一月より本年九月迄に同港より各地へ輸出しさる米雜穀の總高は十五萬八千七百九斗四升八合なりしと云ふ

○大日本農會報告　同會の報告は去る十四年八月に第一號を出版し爾來本月迄に百箇月を閲し本月は即ち第百號を出版する事になりたれば本號より紙數を增し配事を改良したりと又同報第一號より今回の百號迄に印刷せし部數は合計五十六萬五千零七十七部ありと云ふ

○遞羅雜俎（去る十八日の續）在遞羅生田雲溪氏報

人口　遞羅の人口は今も尚は實際を知り難し其故如何にと尋ねるに政府より人頭税を課するが爲めにして吏員が郡府村落に到り其人員を調査せんとする時は住民四方に散じて其影を隱し吏員の去るを窺ふて再び集り來る者皆然りと云ふ前に抄譯せる遞羅旅行記者の言に據れば「國内の人口其實數を知る可からずと雖も安南緬甸等の隣國ゝ比して考ふれば必ず百萬以上はある可しと思はる其人種は純粹なる遞羅人の外にレオ人パル人安南人マレー人ケレーン人及其他の野人ありて大抵は河邊に住居して米作ゝ從事し此河邊より隔りたる山地の方は村落甚た稀ゝして多くは平原荒野のみなり是等の人種中孤獨の生活をなし更らに他の人民と交通せざるものあり即ち盤谷ゝ近く住する或る緬甸人安南人は一種特別の社會をなし自國の言語自國の風習を保てり是等の人民は其昔戰爭の時囚虜となりたるものなりと云ふ又ピッチャプリと云へる所に一種の殖民ありて六十年前國の北境シブンチュタイより移住せる者にて是又自ら一種の言語をなせり」とあり今旅行記者の記するもの〻外に更らに五十萬を加へ即ち人口百五十萬と假定して之を全國の幅員十萬平英方里に配當すれば一英方里僅かに十五人の割なり此富饒なる國土にして此餘裕あり遞羅に志ある者の注意す可き點ある可し但し官吏の言に全國の人口二千萬ありなど云へど決して信すべからざるなり偖是等の人民をば上下の二等に分ち上等は皇族貴族ゝして下等は職工に從事する平民なるが皇族貴族は上に在りて權柄を弄し收斂を事とし平民は之ゝ隸屬して少しにても餘裕あれば盡く剝奪せらるゝが故に全國一般の下等社會に在りては其勞働の報酬として一身の衣食住を支ふるものゝ外は更らに一錢の貯蓄あるとなし酷しと云ふ可し遞羅人は印度人種なりと雖ども却て日本及び支那人と大に似たる所あり身の丈けは概して短く大凡五尺二寸内外にして面貌凋大類骨高く鼻低く口大に唇厚く眼黑くして髮稀共ゝ稀れゝ頭髮黑く身體赤し古來の風習として婦人は其腕の後ゝ曲り、指の表ゝ屈むを良しとするより保姆は其女兒の手を取り指を持て之を曲げ或は屈むるが常にして間々女兒の大に叫ぶものあるを見る男女は孰れも斷髮ゝして容貌風采更に著しき差あく異邦人をして往々其別を誤らしむるとあり是れ或は進化の度淺きに一驚として見るべきか但し男子は文繡を刺し王子皇孫と雖も皆然り

官制　遞羅の開化未だ統一年號を出すの度ゝ至らざれば余の如き異邦人ゝ於て百事茫然たるの感ある中にも分けて官制の如きは緻密錯綜容易に其實際を知る可からずと雖ども先遞王は三人の皇弟とを以て樞密院を補ふ而して所を補ふ而して樞密院と三十五人の内閣とありて各部の事を置きて各部の事務を陸軍、農商務、遞信の部する所に據て之を支配す即ち諸省あり地方チャプヤの號を付し第三級は七州一州ありてプラ官あり身盤谷府はじめ税關郵便局或は洋風に支那此一事のみは實に

米國の人

第三十五紐育シカゴ其

米例へば食堂ブルを幾個とあの間に各々小きし一は牛肉二は々其傍らに献立てみれを注文すし料理人は其合に一皿二皿三皿てテーブルゝ來鉢を推せば瞬くべし何の造作かに時間を費すをけども此れ亦追達するの日わら烹店に立寄りては或は驚きて眩ゝ寄り集ふて度に開く時は怕式取引所に近きありしが場所柄ざらんみとを驚がら食したるに驚くべし幾何らんと傍らの人人は旦食實に甚多きも故あるか却して燃ゆるな燃え盡きて死すへと駈け廻りて能は却一日の稼身共ゝ外にありの進もなく適ゝものあり愛兒や

（天氣）（風量）（寒暖）（氣壓）（水蒸氣）（雨量）（佛尺）（米突）